





[illegible]







[illegible]







國體の精華

有田 音松

國土の聲前篇  
天覽を賜ふ

草莽の臣 有田 習松

思惟問題に對する第一の必要として、昨年四月對英特使の歸國、四六兩箇禮拜、約、銀五百二十萬圓、は、元帥、皇大將を始め、閣内大臣の氣配、は、金玉の輝き、貴族に於て裝飾、門下生、その面々に忠臣天子、幾端、の事蹟を錦繡、宮し、版に懸し、即ち、加ふにその説明を附するを以て全面、皇族、國民道徳教育の資料ならうはなし、臣等、が、年々、本國を離れて、從事せし、國の聲望は、本邦、日、本出來しを以て、同日、午後七時、大隈醫院の列車に、搭じて上京し、二日、宮内省に、上、願して

天皇  
皇后兩陛下  
皇太子殿下

一國士の聲 前編 三

天皇

皇后兩陛下

皇太子殿下  
鷹納原

出之趣ヲ以テ傳獻被

致候二付

御前差上候此段

申入候也

大正十年九月七日

富貴子爵牧野伸顯

大坂市東區南本町三丁  
十一番地  
有田音松殿

富内省

忠孝兩全の徳川光圀公の墓に詣づ

[illegible]

武士道を鼓吹せし

山鹿素行の墓に詣つ

堂早朝用、金手紙なる山鹿五左衛門宛の書に、  
 依願して、香煙、燭香をなした。是は久し調養せし  
 見らるる態度しめる、故乃木將軍在、此は久し調養せり  
 被りて、設けられた牌が建つてゐる、予も亦何れも  
 偉人の墓を修むたいと思ひ、その希望を破滅された、  
 の答へには、素行の徳を遺棄する、が素行の徳を  
 松浦伯が會長、十二月二十七日に總會を開る、宮  
 により、松浦に席し、御し、せられ、如何したのは山鹿  
 より、素行會には、被建て、出席したいのは山鹿であ

多忙のため長  
 遠にする能はず  
 ながらその席  
 を参得すること  
 はない。併し修  
 に要する資金は  
 分を指しますか  
 予の微力を公  
 社を助めたい一  
 員

[illegible]

武士に安んずるを貪り、民衆を驚かすを厭ふ、  
 武士を誹刺するの功は、  
 貴族を誹刺するの功より、  
 尤も大なるものなり。

[illegible][illegible]